保護者の皆様・教区内御寺院の皆様へ

少年研修部会　部会長　小川　大授

**第２２回全道小中学生同朋大会　開催趣旨について**

　「全道小中学生大会（以下、同朋大会）」は、例年3月下旬、札幌市・藻岩山の「東本願寺青少年研修センター」を会場に、全道各地から100名ほどの参加者を募って2泊3日の日程で開催される、非常に大きな規模の研修事業であります。しかしながら、新型コロナウイルスの蔓延に伴い、今年を含めた過去３年間は中止や開催形態の変更を余儀なくされてきました。

　そのような状況下において、今年度も実行委員同士が様々な意見を交わしながら開催方法を模索しましたが、私たちが大切にしなければならないと感じたことは、同朋大会の「」というの精神であります。「　」、つまりの名のもとに「とも（朋、友）」として私一人を敬おうとしてくださるの願いをどう確かめ、自己の生活の中で目の前の人とどう向き合おうとしているのか。そういう問いかけに立ち返って見えてきたことは、「このような状況にあるからこそ、条件的に参加できない人がいてはならない」という強い思いでありました。北海道という広い地域にあってこれまでの同朋大会に参加できなかった人にとっても、共に仏様の教えをできる場を広げていきたい。かといって分散して集会するには状況が許さないし、オンライン上での開催となると、参加対象の小中学生にとってはWi-Fi等の接続環境やパソコン・スマホといった接続機器の調整が困難になる場合があります。そこで、参加を希望した誰もが手に取ることのできる「新聞（冊子）の作成」ということをもって同朋大会を開催することで、少しでも多くの方々と共に仏様の教えに触れるとなることを願って、試行錯誤しながら取り組ませていただいたことでございます。

　つきましては、多くのの方にお声がけいただき、この新聞（冊子）をお配りいただければと思っております。

　ぜひ、皆様の申込を心よりお待ちしております。